

栃木県立佐野東高等学校1年生
講演会資料

働くとはどういうことか
—社会人に求められる能力・マナーとは—



2017年9月13日(水)

14:55～15:55

栃木県立佐野東高等学校
体育館

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : 自己紹介代わりに、好きなことばを紹介してください。

A : (1)「ブルドッグ魂」(食いついたら離すな)

(2)「練習で泣いて、試合で笑え」

(3)「一所懸命」(一つのところで命を懸けるくらい熱心に取り組もう)

(4)「スポーツの3つの宝」小泉信三

①「練習は不可能を可能にする」

②「フェア・プレー」

③「よき友」



(5)「離見の見(りけんのけん)」(舞台上踊っている自分を、観客席から見る)世阿弥

(6)「持続する志」大江健三郎

(7)「教育ある人とは、勉強し続ける人」ドラッカー



Q 2 : どのような仕事や活動をしていますか。

A : (1)開倫塾 塾長(栃木、群馬、茨城、東京)

(2)学校法人有朋学園有朋高等学院 理事長(福島市)

(3)社会福祉法人両崖福祉会 特別養護老人ホーム清明苑 監事(足利市)

(4)マニー株式会社(手術用縫合針製造)顧問、社外取締役(2004～2010年)

本社：宇都宮市、現地法人：ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャン

(5)宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授

(6)公益社団法人栃木県経済同友会 幹事

(7)公益社団法人経済同友会幹事(東京)

Q 3 : 働くとは何ですか。仕事とは何ですか。

A : (1)すべての仕事には、お客様がいます。

(2)仕事とは、お客様のお役に立つことです。



(3) お客様のお役に立つとは、お客様の困っていることや問題解決にお役に立つことと考えます。

(4) 世の中には同じように困っているお客様がいらっしゃいます。

(5) そこで、仕事とは、お客様のお役に立つことで、社会のお役に立つことと考えます。

(6) お客様は「顧客」、お役に立つことは「価値創造」です。

(7) そこで、仕事とは、「顧客価値創造」と考えます。

Q 4 : 会社や様々な団体で仕事をするうえで大切なことは何ですか。

A : (1) すべての会社や団体には、設立の歴史や設立の目的、社会的使命(ミッション)があります。

(2) 会社や団体の目的や社会的使命を十分に「理解」し、「定着」する(身に着ける)こと。

(3) そのうえで、日々の仕事を通してその達成を目指すことが大切です。

Q 5 : 仕事をするうえで大変なことは何ですか。

A : (1) 世の中の激しい変化に対応すること

(2) 競争相手との競争に勝ち抜くこと

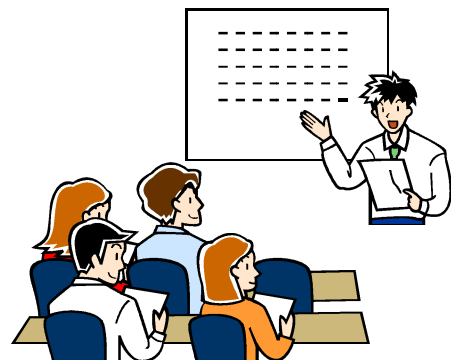
(3) 顧客価値の最大化を図ること

① Product(製品・サービス)が、顧客の問題解決になっていること

② Price(価格)が、顧客が買いやすいこと

③ Place(場所・流通)が、顧客に便利なこと

④ Promotion(広告・宣伝)が、顧客とのコミュニケーションになっていること



Q 6 : 人は何のために働くのですか。何のために仕事をするとお考えですか。

A : (1) お客様の困っていることや問題を解決することで、お客様のお役に立つため、社会のお役に立つため

(2) 生活するだけの収入を得るため

(3) よく生きるため



Q 7 : 今の社会はどのような社会ですか。そのような社会で求められる能力は何ですか。

A : (1) 「知識基盤社会」 — 「知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力」 —

(2) 「グローバル社会」 — 「多様な集団で交流する能力」 —

(3) 「課題山積社会」 — 「自律的に活動する能力」 —



Q 8 : そのような能力の前提となる能力は何ですか。

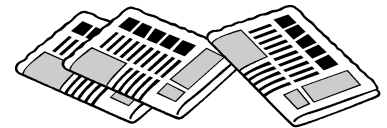
A : (1) 「学び方を学ぶ能力」 — Learning To Learn (学習の学習) —

(2) 「読書による思慮深さ」

①新聞を読んで、自分で考える力、批判的思考 (クリティカルシンキング)

能力も身に着けること

②辞書を用いて、語彙力も身に着けること



(3) 「大切なことはメモをし続ける能力」 — 「仕事はメモで身に着ける」 —

Q 9 : 望ましい社会人になるために、高校生がしておくべきことは何ですか。

A : (1) 高校時代に学ぶことは、大学や短期大学、専門学校、専修学校、大学院など高等教育機関での教育や研究の前提となるもので、すべて役に立ちます。

全教科、しっかりと学び、すべて身に付けて進学すること。

(2) 高校や大学で学んだことは、卒業後、社会に出て仕事や社会的な活動をするときに、また、豊かな人生を送るときにも、一生役に立ちます。しっかりと学び、すべて身に着けること。

(3) 中学校や高校、大学や大学院で学んだことは、一生役に立ちますので、教科書や教材、辞書、ノートは絶対に処分しないこと。わからないことは、中学校や高校の教科書に立ち返り、学び直すこと。折に触れ、一生かけて、何回も学び直すこと。

(4) 教科以外の教育活動も、社会に出てすべて役に立ちますので、積極的に参加すること。

(5) 高校時代に取り組んだスポーツや文化・芸術活動、生徒会活動、ボランティア活動は、大学に進んでからも社会に出てからも継続すること。



Q10：社会人に求められるマナーとは何ですか。

A：(1)「5S」(ごえす)

- ①「整理」(seiri) 要らないものを捨てる
- ②「清掃」(seisou) きれいに掃除する
- ③「整頓」(seiton) ものは同じところに置く
- ④「清潔」(seiketsu) ①～③を継続する
- ⑤「躰」(shitsuke) 自分から進んで行く



(2)別の意味の「躰」

- ①「美しい立ち居振る舞い」
- ②「敬語表現を含むことば遣い」

(3)①「こちらから、元気にあいさつを」

- ②「After You (お先にどうぞ)」
- ③「料理は、全員の分がそろってから」
- ④「感謝は、ことばに出して伝える」



Q11：学力とは何ですか。学力が身に着くとどうなりますか。

A：(1)「学力」とは、「自分から進んで学ぶ力」、「主体的に学ぶ力」と考えます。

(2)「主体的に学ぶ力」を身に着ければ、

- ①「多様な選択肢のある人生を歩む」ことができます。
- ②「正常に機能する社会の形成に貢献する」ことができます。

Q12：最後に一言どうぞ。

A：(1)高校時代の勉強は、人生で一番役に立ちます。すべての基礎基本は、高校時代です。どうかしっかりと毎日をお過ごしください。

(2)「健康第一」です。「心の健康」と「身体の健康」を大切に。

(3)「一生勉強、一生青春」相田みつを

御清聴を感謝いたします。

ご質問やご意見がありましたら、遠慮なくご発言ください。

2017年9月7日(木)21時17分